

平成30年度実施施策に係る政策評価書

(内閣府30-54(政策17-施策①))

政策名	迎賓施設の適切な運営				
施策名	迎賓施設の適切な運営				
達成すべき目標	「観光先進国」実現のため、迎賓館の「一般公開」及び「特別開館」を実施し、迎賓施設への理解を促進する。				
施策の概要	<p>【施策の概要】</p> <p>国の迎賓施設として、海外の賓客に対し安全・快適な施設の提供が出来るよう迎賓施設の管理・運営を行う。また、「迎賓館の公開・開放」は安倍内閣の掲げる重要施策である「観光先進国」のうち、「公的施設の公開・開放」においてシンボリックの意味合いを持つことから観光の呼び水としての役割を果たすため、接遇に支障のない範囲で可能な限り通年で一般公開を実施するとともに、迎賓館の貸出を行う「特別開館」を実施する。</p> <p>【平成30年度に実施した具体的取組】</p> <p>○平成29年度に引き続き、接遇等に支障のない範囲で可能な限り通年で一般公開を実施、赤坂迎賓館では274日間、京都迎賓館では248日間公開した(平成29年度の公開実施日数は、赤坂249日間、京都243日間)。 ○一般公開の更なる魅力向上を図るため、季節や周年等に応じた特別企画等を実施し、満足度の向上を図った。 ○旅行者等にホールセールし、施設を貸し切って行う少人数特別ガイドツアーを試験的に実施した。(赤坂5日間) ○日本の伝統技能や文化をテーマにした特別企画「文化サロン」を実施した。(京都2日間) ○「天皇陛下御在位三十年慶祝行事等」の政府全体の取組の一つとして、一般公開における施設の無料公開を実施した。 ○一般公開の参観料について、試験的な取組を実施した上で、フォトガイドブックの配布、参観アプリの導入、デジタルサイネージの設置など一般公開の魅力向上の取組を行い、10月からサービスに見合った参観料に改定した。 ○特別開館HPでユーザーに分かりやすい情報提供を行い、その結果、赤坂迎賓館で2件、京都迎賓館で1件の特別開館を実施した。</p>				
施策の予算額・執行額 (単位:百万円)	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算の状況	当初予算(a)	297	1,122	1,145	1,101
	補正予算(b)	945	-		
	繰越し等(c)	-100	100		
	合計(a+b+c)	1,142	1,222	1,145	
執行額		852	1,091	985	
施策に係る内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)	「明日の日本を支える観光ビジョン」(平成28年3月30日明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定) 観光立国推進基本計画(平成29年3月28日閣議決定)				

測定指標	区分	主要な指標	測定指標	施策の実績・進捗状況							
				基準値	目標値	年度ごとの目標値					達成状況
						年度ごとの実績値					
29年度	30年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度					
定量的指標		□	1. 迎賓館赤坂離宮の一般公開における一日当たり参観者数の平均	2,220	2,220	-	-	-	4,000	2,220	△
			<p>【測定指標の定義及び選定理由並びに目標値(水準・目標年度)の設定の根拠】</p> <p>平成28年3月30日に決定された、「明日の日本を支える観光ビジョン」において、「観光は真に我が国の成長戦略と地方創生の大きな柱である」との認識の下、「観光先進国」の実現に向け、「赤坂や京都の迎賓館をはじめ、我が国の歴史や伝統に溢れる公的施設を、大胆に、一般向けに公開・開放し、「観光の呼び水」とする」と示され、迎賓館の公開・開放が、そのシンボルと位置付けられているところ。</p> <p>平成28年4月より、通年公開を開始。接遇及び特別開館との兼ね合いから公開可能日数が変化するところから、前年度(平成29年度)に引き続き、一日当たり参観者数の平均を測定指標とし、前年度(平成29年度)の数値を基準値として設定した。</p>								
定量的指標		□	2. 京都迎賓館の一般公開における一日当たり参観者数の平均	[自由参観方式] 748 [ガイドツアー方式] 405	[自由参観方式] 748 [ガイドツアー方式] 405	-	-	-	[自由参観方式] 2,000 [ガイドツアー方式] 750	[自由参観方式] 748 [ガイドツアー方式] 405	△
			<p>【測定指標の定義及び選定理由並びに目標値(水準・目標年度)の設定の根拠】</p> <p>平成28年3月30日に決定された、「明日の日本を支える観光ビジョン」において、「観光は真に我が国の成長戦略と地方創生の大きな柱である」との認識の下、「観光先進国」の実現に向け、「赤坂や京都の迎賓館をはじめ、我が国の歴史や伝統に溢れる公的施設を、大胆に、一般向けに公開・開放し、「観光の呼び水」とする」と示され、迎賓館の公開・開放が、そのシンボルと位置付けられているところ。</p> <p>平成28年4月より、通年公開を開始。接遇及び特別開館との兼ね合いから公開可能日数が変化するところから、前年度(平成29年度)に引き続き、一日当たり参観者数の平均を測定指標とし、前年度(平成29年度)の数値を基準値として設定した。</p>								

測定指標	定量的指標		3. 迎賓館赤坂離宮一般公開における参観者数のうち、アンケートで「やや不満、不満」と答えた人の割合	基準値	目標値	年度ごとの目標値					達成状況
				年度ごとの実績値							
				29年度	30年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		<input type="checkbox"/>		2.90%	10%以下	-	-	10%以下	10%以下	10%以下	○
						-	-	2.80%	2.90%	1.90%	
				【測定指標の定義及び選定理由並びに目標値(水準・目標年度)の設定の根拠】							
				平成28年3月30日に決定された、「明日の日本を支える観光ビジョン」において、「観光は真に我が国の成長戦略と地方創生の大きな柱である」との認識の下、「観光先進国」の実現に向け、「赤坂や京都の迎賓館をはじめ、我が国の歴史や伝統に溢れる公的施設を、大胆に、一般向けに公開・開放し、「観光の呼び水」とする」と示され、迎賓館の公開・開放が、そのシンボルと位置付けられているところ。							
				平成28年4月より、通年公開が開始されたことから、アンケートを実施し、公開の実施方法等の分析を行うことがより良い一般公開の運営につながると考えられることから当該測定指標を設定した。							
測定指標	定量的指標		4. 京都迎賓館一般公開における参観者数のうち、アンケートで「やや不満、不満」と答えた人の割合	基準値	目標値	年度ごとの目標値					達成状況
				年度ごとの実績値							
				29年度	30年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		<input type="checkbox"/>		3.60%	10%以下	-	-	10%以下	10%以下	10%以下	○
						-	-	4.20%	3.60%	2.80%	
				【測定指標の定義及び選定理由並びに目標値(水準・目標年度)の設定の根拠】							
				平成28年3月30日に決定された、「明日の日本を支える観光ビジョン」において、「観光は真に我が国の成長戦略と地方創生の大きな柱である」との認識の下、「観光先進国」の実現に向け、「赤坂や京都の迎賓館をはじめ、我が国の歴史や伝統に溢れる公的施設を、大胆に、一般向けに公開・開放し、「観光の呼び水」とする」と示され、迎賓館の公開・開放が、そのシンボルと位置付けられているところ。							
				平成28年4月より、通年公開が開始されたことから、アンケートを実施し、公開の実施方法等の分析を行うことがより良い一般公開の運営につながると考えられることから当該測定指標を設定した。							
測定指標	定量的指標		5. 特別開館HPの閲覧数	基準値	目標値	年度ごとの目標値					達成状況
				年度ごとの実績値							
				29年度	30年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		<input checked="" type="checkbox"/>		36,992	前年度以上	-	-	-	前年度以上	前年度以上	□
						-	-	60,100	36,992	163,000	
				【測定指標の定義及び選定理由並びに目標値(水準・目標年度)の設定の根拠】							
				平成28年3月30日に決定された、「明日の日本を支える観光ビジョン」において、「観光は真に我が国の成長戦略と地方創生の大きな柱である」との認識の下、「観光先進国」の実現に向け、「赤坂や京都の迎賓館をはじめ、我が国の歴史や伝統に溢れる公的施設を、大胆に、一般向けに公開・開放し、「観光の呼び水」とする」と示され、迎賓館の公開・開放が、そのシンボルと位置付けられているところ。「開放」にあたる「特別開館」は国有財産の積極的利用にあたることから、「特別開館」に対する周知度を測定する為に当該測定指標を設定した。							

参考指標	1. 迎賓館赤坂離宮の一般公開HPの閲覧数	実績値				
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		-	360,000	5,100,000	1,600,000	2,580,000
参考指標	2. 京都迎賓館の一般公開HPの閲覧数	実績値				
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		-	5,750	1,020,000	589,000	606,000
参考指標	3. 「接遇」に関するHPの閲覧数	実績値				
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		4,000	2,500	3,400	1,360	175,000
参考指標	4. 外国人参観者数	実績値				
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		-	-	3,253	8,469	14,788

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) ④ 進展が大きくない (判断根拠) 測定指標3、4については目標を達成、測定指標5については目標を超過して達成したが、主要な指標である1、2について目標を達成していないため、上記判断とした。	
	施策の分析	【測定指標の観点からの分析】 ○測定指標1、2については目標未達成となった。 ・外国の賓客を接遇する日数等が少なかったため、参観実施日数が前年度に比べ多くなり参観者が分散したことや、参観料の値上げや通年公開3年目となり、さらに参観者数が落ち着いてきたことが主な要因と考えられる。 ○測定指標3、4については目標を達成した。 ・参観者のニーズが高いと思われる特別企画の実施や、参観料金改定に合わせて実施したフォトガイドブックの配布、参観アプリの導入、デジタルサイネージの設置などの一般公開の魅力向上の取組が主な要因として考えられる。 ○測定指標5については目標を超過して達成した。 ・HPにおいてユーザーに分かりやすい情報提供を行ったことが主な要因と考えられる。 【外部要因等事前に想定できなかったことにより実績に与えた影響】 前年度に比べ接遇日程が少なく、参観実施日数が多くなったため、参観者が分散した。	
	次期目標等への反映の方向性	【次期の施策の方向性について】 引き続き推進 【次期の測定指標の考え方について】 ○測定指標1、2について、検討する。 ・一般公開において、観光立国の実現に資するよう、更なるニーズの把握に努め、参観者の満足度向上、リピーターや外国人観光客の増加に向けて、旅行者等にホールセールし、施設を貸し切って行う少人数特別ガイドツアーの試験的实施や、音声ガイドや参観アプリ、フォトガイドブックなどの多言語化対応、一般公開における施設の無料公開を実施するなど多様な取組を進めてきており、「1日の平均参観者数」では測れない効果を測定できる主要な指標について検討する。 ○測定指標3、4、5については、引き続き目標の達成に努めることとする。 ・これまで順調に実績が推移しているため、測定指標は妥当であると考えられ、引き続き参観者のニーズに応じた一般参観や特別開館HPでのユーザーに分かりやすい情報提供に努めてまいりたい。 【根拠とした統計・データ等】	
	学識経験を有する者の知見の活用		
政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	通年公開(赤坂、京都)の不满割合: アンケート結果		
担当部局名	迎賓館	政策評価実施時期	令和元年8月